

* 前期比：D I・季節調整済

景況

業況は-74と前期比9ポイント悪化傾向を弱めました。売上額は6ポイント減少傾向を弱め、収益は10ポイント減少傾向を強めました。価格面では、販売価格は8ポイント減少傾向を強め、仕入価格は9ポイント上昇傾向を弱め、ほぼ適性となりました。在庫は8ポイント不足傾向を弱めました。資金繰りは11ポイント窮屈感が弱まりました。残業時間は1ポイントわずかに減少傾向を強め、人手は若干過剰傾向に転じました。設備の状況は1ポイントわずかに不足感を強め、設備投資については、車両などで前期同様7%の先が実施しました。

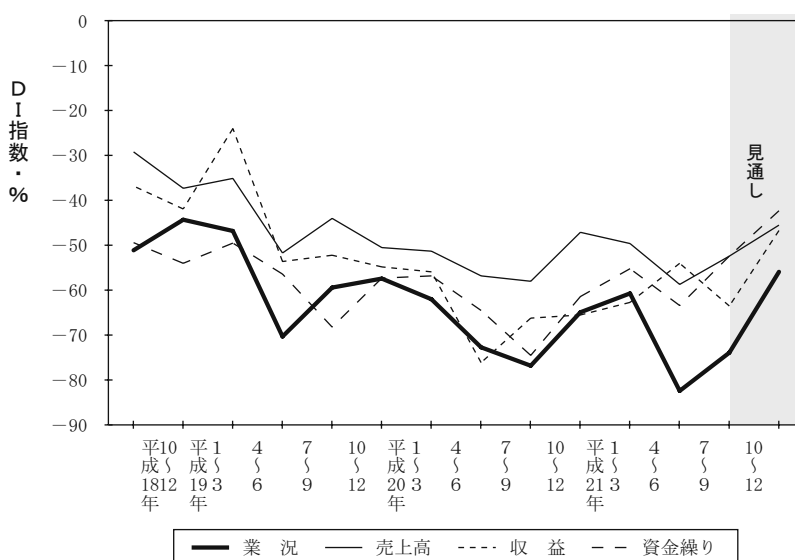
来期の見通し

業況は-56と今期に比べ、さらに18ポイント悪化傾向が弱まるとみています。売上は7ポイント、収益は17ポイント減少傾向を弱めそうです。価格面では、販売価格は2ポイント下降傾向を強め、仕入価格は12ポイント上昇傾向を強めるとみています。在庫は6ポイント不足感が強まるとみています。資金繰りは11ポイント窮屈感が弱まるとみていますが、依然窮屈感が続きそうです。残業時間は10ポイント減少傾向が弱まり、人手は不足に転じるとみています。設備の状況は3ポイント不足感が強まり、設備投資については、事業用土地建物などで、今期同様7%の実施予定としています。

調査員のコメント

- 売上が伸びない状況にあり、今後メニューの改善等を考える。
(一般食堂)
- 売上、収益とも変化はないが、固定客がいることが強みとなっている。
(一般食堂)

景況の推移



主な指標の動き

